令和４年１月７日
茨城県水産試験場

水　産　の　窓

長期漁海況予報会議の結果（令和４年１月～6 月の予測）について

令和3年12月21日～22日に令和3年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催され、（国研）水産研究・教育機構が予測をとりまとめましたのでお知らせします。

１．海況

（１）黒潮（潮岬以東）

・大蛇行が継続し、A型基調で推移する。

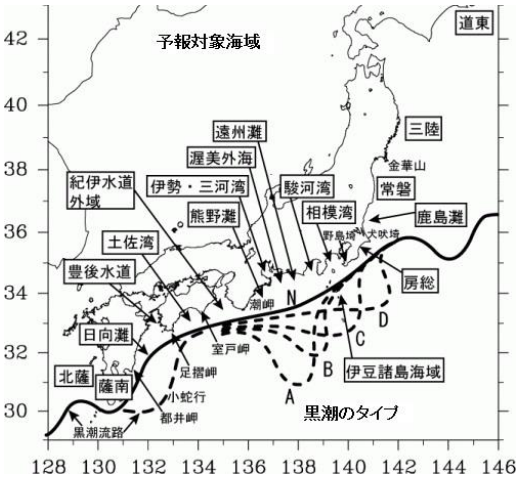
・房総沖では、接岸傾向で推移するものの、一時的に離岸することがある。

（２）鹿島灘～常磐南部海域

・黒潮から暖水が波及しやすいものの、一時的に沿岸水が分布することがある。

（３）沿岸水温

・房総～常磐南部海域は、「平年並」～「やや高め」で推移する。



図．予報対象海域および黒潮の流型

２．漁況

（１）マサバ・ゴマサバ（犬吠～三陸海域：まき網、定置網、底曳網）

①来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳魚は前年を下回る。4歳魚は前年を上回る。5歳魚は前年並。6歳以上は前年を上回る。マサバ全体としては前年並。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては前年並。

②漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網では1月および4月以降に漁獲される。三陸海域の底曳網では期を通じて漁獲される。

③魚体（尾叉長）：マサバは28cm～37cm（250g～650g、4歳以上）主体に、2月以降は22cm～31cm（100g～350g、3歳以下）の割合が増加する。

（２）マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

①来遊量：前年並。

②漁期・漁場：まき網の漁場は、1月～6月は犬吠埼沖～常磐海域で断続的に形成され、6月以降は三陸海域、6月下旬には道東海域でも形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。

③魚体（被鱗体長）：10cm～15cm前後（10g～45g前後、1歳魚）、14cm～17cm前後（40g～60g前後、2歳魚）、16cm～19cm前後（50g～80g前後、3歳魚）、17cm以上（70g以上、4歳魚）が漁獲される。

（３）カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

①来遊量：房総海域では前年を下回る。三陸南部海域では前年並。常磐海域、三陸北部海域ではまとまった漁獲がない。道東海域ではマイワシ来遊量が前年より少ない場合は、漁獲対象となる可能性がある。

②漁期・漁場：道東海域、常磐～房総海域の1そうまき網の主な漁獲対象にはならない。三陸海域の定置網は1月で終漁する。房総沿岸海域の2そうまき網は期を通じて散発的に漁獲される。

③魚体（被鱗体長）：7～11cm（10g以下）の1歳魚、10cm～13cm（15g前後）の2歳が漁獲される。

（回遊性資源部）